

大谷学會

◇研究発表会

十月二十一日(木)午後一時～

於 響流館メディアホール

蘭茂本『韻略易通』考

本学准教授 浦山あゆみ

近世京都と東本願寺の造営

本学准教授 平野寿則

中山間地における生活問題と地域福祉

—奈良県川上村を中心に—

本学准教授 志藤修史

大谷大学の人権教育に関する私論

本学教授 谷 眞理

「蘭茂本『韻略易通』考」の発表要旨

は今号に掲載しています。その他の発表

表内容は論文として次号以降の『大谷

学報』に掲載予定です。

真宗総合研究所

◇真宗総合研究所委員会

十二月二十二日(水)午後四時二十分～

於 博綜館第二会議室

・二〇一一年度「一般研究」の選考に

ついて

真宗学會

◇第二回真宗学会例会

七月十四日(水)午後二時四十分～

於 講堂棟多目的ホール

卒業論文梗概発表会

修士課程第一学年 六名

◇第三回真宗学会例会

九月二十九日(水)午後二時四十分～

於 尋源講堂

存在と信

—清沢満之「破邪顕正談」の課題—

博士後期課程第一学年 川口 淳

「信巻」の構造について

—真仏弟子釈の位置を中心に—

博士後期課程第一学年 青柳英司

◇第四回真宗学会例会

十月二十日(水)午後二時四十分～

於 尋源講堂

親鸞における四依の意義

博士後期課程第二学年 齊藤 覚

証大涅槃の真因—真実信開頭の意義—

博士後期課程第三学年 山高秀介

◇真宗学会大会

十月二十七日(水)午後三時～

於 尋源講堂

隆寛の思想形成

—青蓮院門徒から法然門弟へ—

浄土宗総合研究所研究員 善 裕昭

親鸞における『教行信証』の課題

本学准教授 三木彰円

◇修士論文中間発表会

十一月三日(水)午後二時四十分～

於 二号館三三〇一教室

唯除の機—法に背くものの自覚—

山元一志

「値遇」と「聞思」によって開かれる

佛道 足利智文

大乘の仏道の開顕

大乗の仏道の開顕 境川信秀

◇第五回真宗学会例会

十一月十日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

願生淨土

博士後期課程第一学年 法水淳一

『選択集』における菩提心廢捨の意義

—『摧邪輪』との比較を通して—

博士後期課程第二学年 相馬 晃

◇第六回真宗学会例会

十一月二十四日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

「四阿含」と清沢満之

本学助教 西本祐攝

◇卒業論文中間発表会

十二月二日(木)午後六時

於 二号館二二〇一教室

親鸞における救い—その普遍性—

藤坂賢良

現生正定聚

現代と念仏

ともに生きるということ—真宗保育の

眼— 林田真貴子

『歎異抄』における二種深信—曾我量

深の理解を中心に— 金石智祥

地獄一定すみかの自覚—親鸞の生涯を

通して—

深谷優里香

◇第七回真宗学会例会

十二月十五日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

『選択本願念仏集』の意義

—「行巻」所引『選択集』の題号並

びに採号を通して—

博士後期課程第一学年 光川眞翔

「選択」の意義

—有漏業無漏業を視点として—

博士後期課程第二学年 亀崎真量

仏 教 学 会

◇研究発表例会

七月十五日(木)午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室

如来藏系の經典における「法身」につ

いて—「如来藏経」・「不増不减経」・

『勝鬘経』を中心として—

博士後期課程第三学年

Srisethaworakul Suchada

ステイラマテイとヤシヨミトラ

—三種類の分別を定立するか否か—

本学専任講師 箕浦暁雄

十月二十一日(木)午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室

初期阿毘達磨論書における煩惱説

博士後期課程第三学年 金 敬姫

預流と阿羅漢—『ダンマバダアッタカ

ター』における信の観点から—

博士後期課程第三学年 香月 拓

道宣による『七種礼法』引用の意図

本学任期制助教 戸次眞彰

◇修士論文中間発表会

十月四日(月)午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室

◇公開講演会

十二月一日(水)午後四時二十分

於 尋源講堂

中観思想とは何か

—ナーガールジュナと初期仏教—

東京大学人文社会科学系研究科教授・

日本印度学仏教学会理事長

斎藤 明

哲 学 会

◇秋季研究会

十二月十一日(土) 午後三時

於 五号館五一〇一教室

近代民衆の皇室観・無関心層の所在について 本学任期制助教 右田裕規

西洋哲学学会・倫理学会

◇秋季公開講演会

十一月四日(木) 午後四時二十分

於 尋源講堂

ニーチェとストア哲学

―憐れみ・同情の禁止をめぐる―

専修大学文学部教授 神崎 繁

宗 教 学 会

◇第二十九回「大拙忌」記念公開講演会

七月十二日(月) 午後四時二十分

於 響流館メディアホール

精神科治療の経験から見た心と身体の

関係

京都大学大学院教授 新宮一成

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会

七月二十四日(土) 午後一時十五分

・研究発表(午後一時三十分)

於 響流館メディアホール

指定管理者の「学芸員」 工藤克洋

秀吉政権と木食応其 川端泰幸

・記念講演(午後四時)

中世京都の非人と遊女―清水坂界隈の

風景― 大山喬平

・総会(午後五時十五分)

・懇親会(午後五時四十分)

於 一号館学生談話室・

ビッグバレー

◇大谷大学日本史の会九月例会

九月二十五日(土) 午後二時

於 響流館演習室四

大本の『立替え立直し』観と地震

長谷川雄高

◇大谷大学日本史の会十一月例会

十一月二十七日(土) 午後二時

於 響流館演習室四

所領内における神の位置付け―『色部

氏年中行事』を素材に― 山本春奈

文 藝 学 会

◇公開講演会

六月三十日(水) 午後一時

於 響流館メディアホール

『平家物語』と『太平記』のことは

―形容詞「あさまし」の語義―

本学教授 池田敬子

文化交渉学と言語接触―翻訳とは何

か― 関西大学教授 内田慶市

◇『文藝論叢』第七十五号発行

(十月三十日A5判八十頁)

解脱上人と明恵上人―興福寺蔵「梅尾

明恵上人伝」上に見られる解脱上人

説話― 野村卓実

『三玉感応要略録』の撰者について

金 偉・呉 彦

『列仙全伝』研究(十二)―図像資料

集②・5了 佐藤義寛

《文藝学会公開講演会・筆録》

文化交渉学と言語接触—翻訳とは何か—
内田慶市

国文学会

◇十月二日(土)午後三時三十分

於 尋源講堂
板木は語る 奈良大学教授 永井一彰

中国文学会

◇卒業論文中間発表会

十月二十六日(火)午後一時

於 講堂棟談話室一・二
劉勰の文学批評理論小考—『文心雕龍』
「知音」篇を中心に— 松浦 建
孫子考—組織におけるリーダー像—
源 剛志

◇学術公開講演会

十二月十六日(木)午後二時四十分

於 尋源講堂
白居易と「故郷」
福井大学教授 澤崎久和

西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第三十号発行

(目次)

フレデリック・ダグラスのトゥサン・
ルヴェルチュールに関する未公刊原
稿—翻刻と解題— 朴 珣英
結束性と文体—クライストの『拾い子』
について— 廣川智貴

『戦う操縦士』における一人称語り
—物語情報の観点から— 藤田義孝

◇年次大会

七月十七日(土)午後一時三十分

於 博綜館第五会議室
①総会
②研究発表(午後二時)
物語情報の観点から読む『戦う操縦士』
—「行動主義的」語りの戦略—

藤田義孝

心理表現としての身振り—J・J・
エンゲル『演技のための理念』
(1785/1786)について 廣川智貴
フレデリック・ダグラスのトゥサン・
ルヴェルチュールに関する未公刊原

稿について

朴 珣英

英文学会

◇年次大会

十二月二日(木)午後四時二十分

於 一号館一—一〇教室
<研究発表>

トニ・モリソンの『マーシー』について—
「マーシー」の両義性と「黒い」

テクストの生成— 石本哲子
卒業論文中間発表

①ウィリアム・ゴールディングの『蠅

の王』について 山川夏樹

②グレアム・グリーンの『情事の終わ
り』について 脇坂高志

人文情報学

◇報道記者発表

七月二日(金)午後三時三十分

於 響流館マルチメディア演習室
i2Lを利用した教育プログラムの構築
について

十一月十一日(木)

博物館展示ガイド／JTBコンテンツ試

験運用開始

◇人文情報学講演会

十一月十六日(火) 午後二時四十分

於 響流館メディアホール

「デザイン」に学ぶ

―グッドデザインの世界―

日本産業デザイン振興会

理事長 飯塚和憲

短期 仏 教 科

◇第二学年卒業研究中間発表一夜研修会

九月十日(金)～十一日(土)

於 湖西キャンパスセミナーハウス

第二学年の一夜研修会を開催。十一月

一日の卒業研究の提出に向けて、中間

発表会と教員を交えての懇談会を行っ

た。